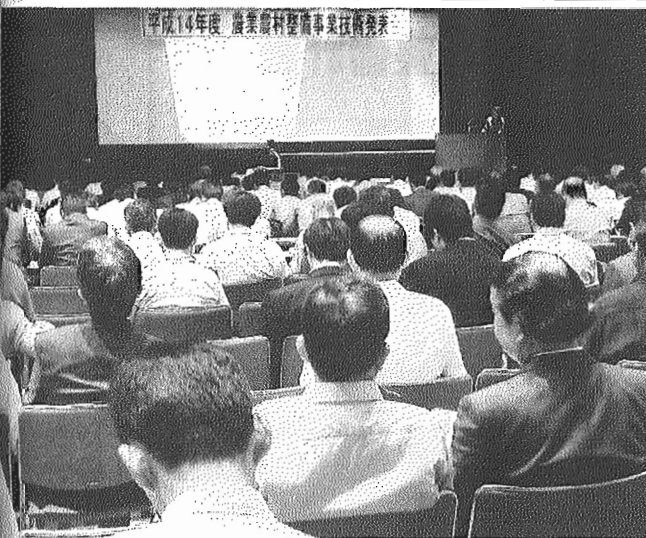




平成14年度 農業農村整備事業技術発表会
鹿児島市の県庁で、農業農村整備技術発表会が開かれ、約500人が参加した。発表会では、農業農村整備技術の向上を図るため、各分野の技術者が集まり、最新の技術やノウハウを発表した。また、関係者による懇話会も行われ、今後の取り組みについて話し合った。

農業農村整備技術発表会
遺跡等に配慮した検討を
参加者は真剣に耳を傾けていた。

今年度分の5カ所設置
県建設士会川薩支部(徳丸節男支部長・株田分かりやす支部副)は、今年度分の5カ所の設置について、関係機関と協議を進めている。設置場所は、川内市、薩摩市、大隅市、日向市、姶良市の各1カ所となっている。

沿道でごみ拾い等
県建設士会出水支部青年部(部長・坂東憲幸)は、沿道のごみ拾いなどの清掃活動を実施した。参加者は、沿道のごみを拾い、きれいに保つことに努めた。

顧客の要望に迅速対応
駿河 寿樹さん
業務内容は、各種セメントやタイルなどの建設資材の配達業務。顧客の要望に迅速に対応するため、常に最新の設備を導入している。



作業後に写真に納まる参加者＝出水市で

お手軽で便利な
読料のお支払いは
自動振替で
鹿児島建設新聞
099-227-5100へ

国内最古・最大級の上野原遺跡の保存と活用を
図り、県民に縄文時代の生活と文化に触れ親しむことができる「上野原縄文の森」が5日、国分市の川内及び上之段地区にオープンし、一般公開に

時空超える体験施設

約3万本の照葉樹や落葉広葉樹



テップカットで開園を祝う関係者(上)と感謝状を授与される植村氏

先立ち関係者による開園記念式典が行われた。式典では、須賀龍郎県知事が「縄文文化に実際に触れて時空を超えた体験が行える施設として期待している」と挨拶。続いて、県議会議員の祝辞や工事経過報告の後、展示館建築を行った(株)植村組の植村久社長と園路正面玄関では須賀知事や関係者らが記念撮影を行った。

設計・施工などに携わった施工業者の代表に須賀知事から感謝状が贈呈された。同施設は、10年度から敷地約36ヘクタールに約3万本の照葉樹や落葉広葉樹を植樹し、縄文時代の生活に親しめる体験施設(体験学習館・古代体験広場等)と出土品を展示する見学エリ

谷口義一国分市長らがテップカットを行って開園を祝い、参加者は館内の施設を見学して、古代遺跡を堪能した。



山之内町武元、川内野町八久保の5カ所に建立し、上部のタイル板製案内板などは専門業者が近日中に取り付ける。同日は、同会賛助会員である(株)吉満組(吉満祐市社長)製材工場、防根腐・防蟻薬液注入、根元の銅板巻きなどの無償加工した丸太の標柱を前に会員25人が集合して出発式が行われた。まちづくり委員会の中俣知大と挨拶。西一紀同委員長(西建築設計事務所)が分担説明などを行い、標柱を横んだトラックなどに分乗して担当地へ向かい建立した。



趣味は釣りで釣歴は6年。特に磯釣りが好きで、鯛やクロダイを釣りに各地へ出向きます。また、月に1回は妻の出身地である種子島へ出張するので、休日に時間があれば南種子町のポイントに行きます。そこに辿り着くまでに岩場を越えたり、泳いだりと大変ですが、その苦労も吹き飛ばすくらいクロダイが入れ食いなので止められませんね。

(財部建材店)